

27日(朝)

(聖句/ヘブライ人への手紙13章14、15節)

わたしたちはこの地上に永続する都を持っておらず、来るべき都を探し求めているのです。だから、イエスを通して賛美のいけにえ、すなわち御名をたたえる唇の実を、絶えず神に献げましょう。

(祈り)

恵みの源である神よ、豊かな祝福でわたしたちを満たしてください。
わたしたちが、日々罪に死んで新しいのちに生き、
栄光の現れを待ち望むことができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

(詩編115編)

わたしたちではなく、主よ わたしたちではなく
あなたの御名こそ、栄え輝きますように
あなたの慈しみとまことによって。
なぜ国々は言うのか 「彼らの神はどこにいる」と。
わたしたちの神は天にいまし
御旨のままにすべてを行われる。
国々の偶像は金銀にすぎず 人間の手が造ったもの。
口があっても話せず 目があっても見えない。
耳があっても聞こえず 鼻があってもかぐことができない。
手があってもつかめず 足があっても歩けず
喉があっても声を出せない。
偶像を造り、それに依り頼む者は皆、偶像と同じようになる。
主よ、わたしたちを御心に留め 祝福してください。
主を畏れる人を祝福し 大きな人も小さな人も祝福してください。
天地の造り主、主が あなたたちを祝福してくださるように。
天は主のもの、地は人への賜物。
主を賛美するのは死者ではない
沈黙の国へ去った人々ではない。
わたしたちこそ、主をたたえよう
今も、そしてとこしえに。ハレルヤ。

(主の祈り)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。
み国を来たらせたまえ。
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪を犯す者を 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。アーメン。